

大学・短大・専門学校等 進学ガイド — 支援制度のご案内 — (高校生向け)

高校卒業後の選択肢はたくさんあるよ。
どんな進路があるか 考えてみよう！
自分にあった道があるはずだよ



高校卒業後の進路

高校卒業後、主な進路先として大学、短期大学（短大）、専門学校があります。進学か就職によって道がわかることとなりますので、よく考えて進路を選択しましょう。

大学（4～6年間）

教養教育と、法律、経済経営、理学、工学、農学、医学、教育などの、より専門的な学問を学ぶための学校。

短期大学（2～3年間）

短期間で教養教育や幼稚園教諭、保育士、栄養士、介護福祉士などを養成する専門的教育を学ぶための学校。

専門学校（2年以上）

（専門課程・一般課程）

職業教育や専門的な技術教育を学ぶことで、さまざまな分野のスペシャリストを目指すための学校。

※職業訓練を受講し、就職に必要な職業スキルや知識を習得する方法もあります。

進学すると必要になるお金

①入学時にかかる費用

	国公立大学	私立大学	私立短期大学	専門学校
受験料	17,000円 (二次試験)	20,000～ 30,000円	20,000～ 30,000円	15,000～ 35,000円
入学金等	282,000円 423,000円※	約200,000円	約200,000円	約150,000円

※公立大学は、その地域の住民かどうかで入学金が異なります。

- ★大学入学共通テスト…国公立大学を受験する人は、ほぼ全員受験が必要。
私立大学でも「共通テスト利用入試」という入試方式あり。
- ・検定料 3教科以上受験：18,000円
2教科以下受験：12,000円
 - ・成績通知手数料：検定料 + 800円

②入学後にかかる費用

	国公立大学	私立大学	私立短期大学	専門学校
授業料年額 (教育充実費含)	約54万円	約98万～ 約110万円	約92万円	約90万～ 約110万円
その他	後援会費・保険料・教材費・実習費・諸会費など（約2.5万円～約8万円/年額） 学生寮や一人暮らし、通学にかかる交通費などの費用が必要となる場合があります。			

学費等の支援制度

高等教育の修学支援新制度（大学無償化）

【給付型奨学金】日本学生支援機構が各学生に支給。

- ・給付型奨学金の給付額（年額）※住民税非課税世帯

国公立（大学・短期大学・専門学校）	自宅通学 約35万円、自宅外通学 約80万円
国公立（高等専門学校）	自宅通学 約21万円、自宅外通学 約41万円
私立（大学・短期大学・専門学校）	自宅通学 約46万円、自宅外通学 約91万円

【授業料等減免】各大学等が上限額まで授業料等の減免を実施。

- ・授業料減免の上限額（年額）※住民税非課税世帯

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約17万円	約39万円	約25万円	約62万円
専門学校	約7万円	約17万円	約16万円	約59万円

【対象】住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯の学生。

※住民税非課税世帯以外は、世帯年収に応じて段階的に減額となります。

【募集】高校3年時（進学の前年）の4月下旬頃から高校を通じて申込。（予約募集）

奨学金（貸与型）・貸付制度

- ・進学する場合に奨学金（貸与型）や貸付制度を利用できる場合があります。※返済が必要です。
- ・各制度ごとに対象者や申請時期が異なります。詳細は各問合せ先にお問い合わせください。

【主な奨学金、貸与・貸付制度】

	制度内容・給付額・貸与額	対象・返済など	募集・問合せ先
貸付・貸与	日本学生支援機構 第一種 月額：20,000円～64,000円 第二種 月額：20,000円～120,000円	対象：第一種は給付型奨学金の区分によって貸与月額が調整されます。 返済：返済期間は借入額によって異なります。 第一種（無利子）、第二種（有利子）	4月に在学する学校を通じて募集 ※高校在学中に予約募集あり（学校が定める期間）
	石川県育英資金 月額：44,000円	対象：大学1～6年生、高等専門学校4～5年生、専修学校在学中、勉学意欲があり、かつ、学資の支弁が困難な者。 返済：据置期間後20年以内（無利子） ※日本学生支援機構奨学金と併用不可。	4月～5月に学校を通じて募集 在学する学校または 石川県教育委員会事務局 庶務課 学校経営グループ石川県育英資金担当 電話：076-225-1816（直通）
	母子父子寡婦福祉資金貸付金 ○修学資金：就学するために必要な費用 月額：67,500円～146,000円 ○就学支度資金：就学・修業するために必要な費用 420,000円～580,000円	対象：ひとり親家庭 返済：据置期間後20年以内（無利子）	随時相談・申請受付 金沢市子育て支援課 電話：076-220-2285
	生活福祉資金（教育支援資金） ○教育支援費：就学するために必要な費用 月額：60,000円～65,000円 ※特に必要と認める場合、貸付限度額の1.5倍まで貸付可。 ○就学支度費：入学に際し必要な費用 500,000円以内	対象：低所得世帯等（収入要件あり） 返済：据置期間後20年以内（無利子）	随時相談・申請受付 金沢自立生活サポートセンター （金沢市社会福祉協議会） 電話：076-231-3720

※上記以外にも学校独自の減免制度や奨学金等を実施している場合があります。

子どもの学習総合支援事業（学習支援教室）

- 中学生・高校生を対象に、進学等に向けた学習支援と居場所の提供を行っています。
- 大学生のボランティアが勉強を教えています。また、おしゃべりなども交えながら、楽しく安心して過ごすことができる居場所を提供しています。
- 進路にかかる費用等に関する相談に応じ、子どもと保護者の双方に必要な支援を行います。

- 場 所 : 金沢市松ヶ枝福祉館（金沢市高岡町7番25号）
- 開催日 : 毎週水曜日・金曜日 16時から19時（予約不要・自由参加）
※大学生のボランティアは17時から19時まで対応します。
- 参加費 : 無料。交通費（バス代等）の補助があります。
- 参加対象 : 低所得など収入等の要件に該当する世帯。

— 学習支援教室参加者の声（高校生） —

みんな元気で楽しい場所！
苦手なところも克服でき
得意な教科も点数が伸びた！

優しい大学生が丁寧に
教えてくれます
とても楽しいです！

学習の内容は基本フリーなので、自分のペースで好きなことをしながら過ごすことができます



人見知りでも
溶け込むことが
できました
たくさん話せて
楽しいです!!
タブレットや
パソコンでも
勉強できるよ！

社会福祉法人金沢市社会福祉協議会
金沢自立生活サポートセンター

〒920-0864 金沢市高岡町7-25 金沢市松ヶ枝福祉館2階
電話：076-231-3720 FAX：076-231-0801

URL <http://www.kana-syakyo.jp>

E-mail support@kana-syakyo.jp